

ローカルFM局が野外フェスで繋ぐ この街の誇りと未来

株式会社エフエム長崎 代表取締役社長
スカイジャンボリー統括プロデューサー
村川 和彦

SKYJAMBOREE 稲佐山公園野外ステージ 1万人



はじめに。

スカイジャンボリーは1999年にスタート、コロナ中止を経て、今年25回目を無事終了しました。集客2千名程度で始めたこのフェスは、今では国内各地から1万人が集まるフェスに育ちました。

さて、「1万人」の価値を地域換算すると...

長崎のライブハウス「DRUM Be-7」キャパ350人 を完売できるアーティストは、日本武道館キャパ約10,000人 が完売できる。と言われています。 **約30倍。**

ということは、

長崎 1万人 = 首都圏 30万人！

東京ドーム6回分。あのGLAY20万人ライブをも上回ります。



(1) 「場所性」に根差す理念の構築

なぜ、日本の西の端のローカルFM局が、野外音楽フェスティバルを
ロッキン、サマソニよりも早く立ち上げ、27年続けてこられたのか？

◎ 長崎の街の歴史と県民気質 「誇り」と「祈り」の文化

+

◎ エフエム長崎の自由な社風とローカル局ならではの気軽さ

(1) 「場所性」に根差す理念の構築

◎長崎の街の歴史と県民気質

長崎は「誇り」と「祈り」の街です。

鎖国時代、ここが日本の文化の始まり、という感性の「誇り」。

原子爆弾投下による悲しい歴史、その痛みに対して「怒る」のではなく、この街を最後にしてください、という「祈り」。

この偉大なる先人からの教え、想いが根付いていて、これこそが「祈りの街・長崎」の最大の強さだと思います。

「誇り」「祈り」>「悲劇」。自分自身に「誇り」「想い」をもっている街。流行とかも、他の街で流行っている、の理由で、それがいいとは思わない。
自分の目で耳で心で感じて「自分の好き」を決める。自分を持った街。

(1) 「場所性」に根差す理念の構築

◎エフエム長崎の自由な社風とローカル局ならではの気軽さ

エフエム長崎は1982年、日本で7番目のFM局として開局。今年43周年。
親会社や株主に放送局が入ってなく、放送局らしさ（それが分からず）より、
純粹にいい音楽を届けること、長崎が元気になることを第一と考えている局。
イベンター（会社組織）がない長崎の中で、**イベンター代わり**として、
音楽事業に特化。「音楽のことはFM」県民からもその立ち位置と認識されています。

また、スポンサード番組もそう多くなく、割と自由に選曲、編成が決定でき、
自分達がいいと思うものをリスナーに届ける、ある種真っ当な番組作りが可能。
東京や福岡に迎合することなく、ここ長崎が楽しい街になるように、私達が信じる
アーティストを応援し、**長崎でその音が鳴ることに意味を感じているラジオ局**です。

一例) 「レゲエ・ジャパンスプラッシュ in Kyusyu」

1989～1998 @ 長崎外港 伊王島 (当時離島) 特設ステージ



* イベントパッケージ買取 自主興行

一例) 「レゲエ・ジャパンスプラッシュ IN KYUSYU」

県民性：自分の感性を信じている。東京で流行っているの理由でそれがいいとは思わない。
自分の目で耳で心で感じ「自分の好き」を決める。

当時、音楽の入口はほぼFM長崎。FM長崎が選ぶ音楽の責任は重大。

全国ブレイク前から「spitz」「KAN」「槇原敬之」「斉藤和義」など長崎では人気。



FM長崎：1980年代 当時のイカした放送部長がレゲエに傾倒。

レゲエミュージックのオンエアー率が異常に高くなる。局には苦情も。

1989年 「レゲエ・ジャパンスプラッシュ」第1回開催

出演：デニスブラウン、フレディマグレガー、シャインヘッド、NAHKI 他
まだレゲエブームが到来する前。会場は陸続きではない離島の伊王島
伊王島をリトルジャマイカと勝手に言い出す。

当初は動員含め2000人程度。**県民性も伴い、レゲエが長崎で浸透していく。**



1990年代 日本にレゲエブーム到来 (**時代が追いつく**)。入場者は1万人を超える。

ブームは続いている中、1998年、あっさり10年でやめる。

「レゲエ・ジャパンスプラッシュ in Kyusyu」 1989～1998 @伊王島特設ステージ王



最大12,000名集客

1989～1998年まで10年開催。

*1997年は台風で中止。

Sky Jamboree の誕生

1万人を集める「レゲエジャパンスプラッシュ」をあっさり終了し、1999年、次のチャレンジへ。

コンセプト 1990年後半、メジャーレーベルからではなく、自主レーベルからリリースされる、ヒットチャートを意識しない様々なスタイルの音楽が生まれ出していた。

代表格 MONGOL800、KEMURI、GOING STEADY、POTSHOT、SNAIL RAMP 他
そんな自由な音楽性を持つ、私達が信じるバンドと一緒にメッセージを発信する。

中心人物 Sky Jamboree初代プロデューサー 有森勝郎 (FM長崎)
KEMURI 伊藤ふみお氏

メッセージ **one pray in nagasaki** 伊藤ふみお氏からいただく。

第1回開催 Sky Jamboree'99～one pray in nagasaki～ 7/25(sun)@稲佐山公演野外ステージ
出演：KEMURI/POTSHOT/RUDE BONES/YOUNG PUNCH/GELUGUGU
博多サイコス/SKA ROCKETS/DASHING STRAIGHT/SUB/FANTASYS CORE

SKYJAMBOREE会場風景 1DAY & 1STAGE



Sky Jamboree 変遷

1999～

創世期



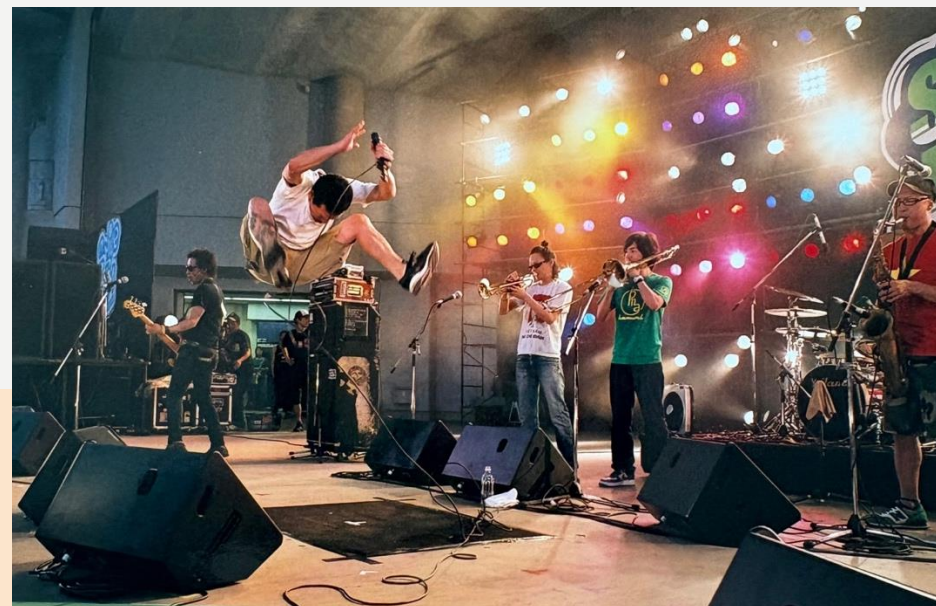
KUMURI
POTSHOT
YOUNG PUNCH
SNAILRAMP
PENPALS
GOING STEADY
smorgas
etc.

2002～

青春パンク



10-FEET
175R
ガガガSP
STANCE PUNKS
太陽族
THEイナズマ戦隊
ジャパハリネット
etc.



Sky Jamboree 変遷



2006～

第1次成長期



2011～

第2次成長期



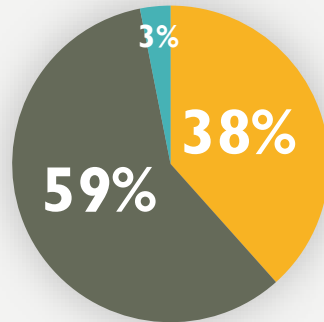
ELLEGARDEN
BEAT CRUSADERS
ザ・クロマニヨンズ
Ken Yokoyama
the pillows
サンボマスター
マキシマムザホルモン
BOOMBOOMSATELLITES
MONKEY MAJIK
m-flo
RADWIMPS etc.

ストレイテナー
ONE OK ROCK
MAN WITH A MISSION
東京スカパラダイスオーケストラ
Dragon Ash
斉藤和義
RIPSLYME
サカナクション
SUPER BEAVER
マカロニえんぴつ
Vaundy etc.

Sky Jamboree 来場者 性別／世代別シェア

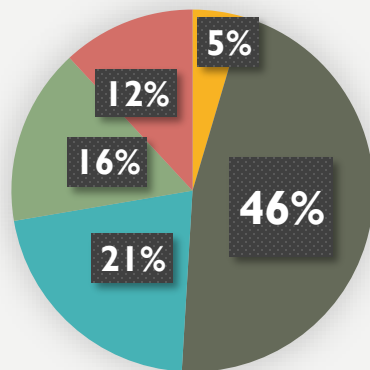
2023年 Vaundy／SUPER BEAVER

性別シェア



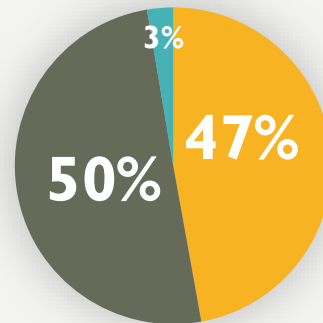
■ 男性 ■ 女性 ■ その他 ■

世代別



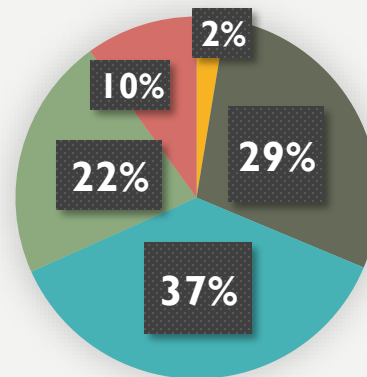
2024年 ELLEGARDEN／ホルモン

性別シェア



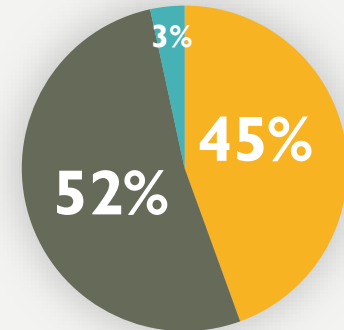
■ 男性 ■ 女性 ■ その他 ■

世代別



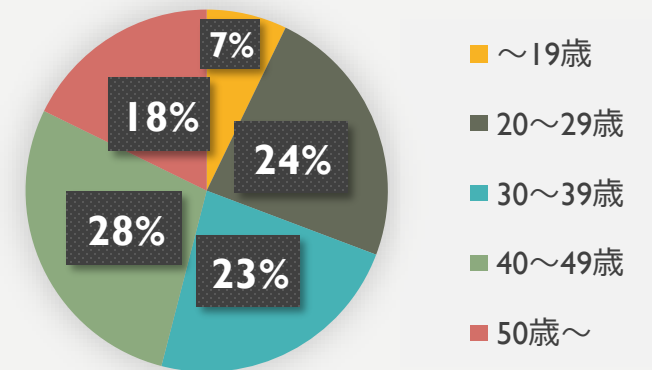
2025年 BRAHMAN／マカロニ

性別シェア

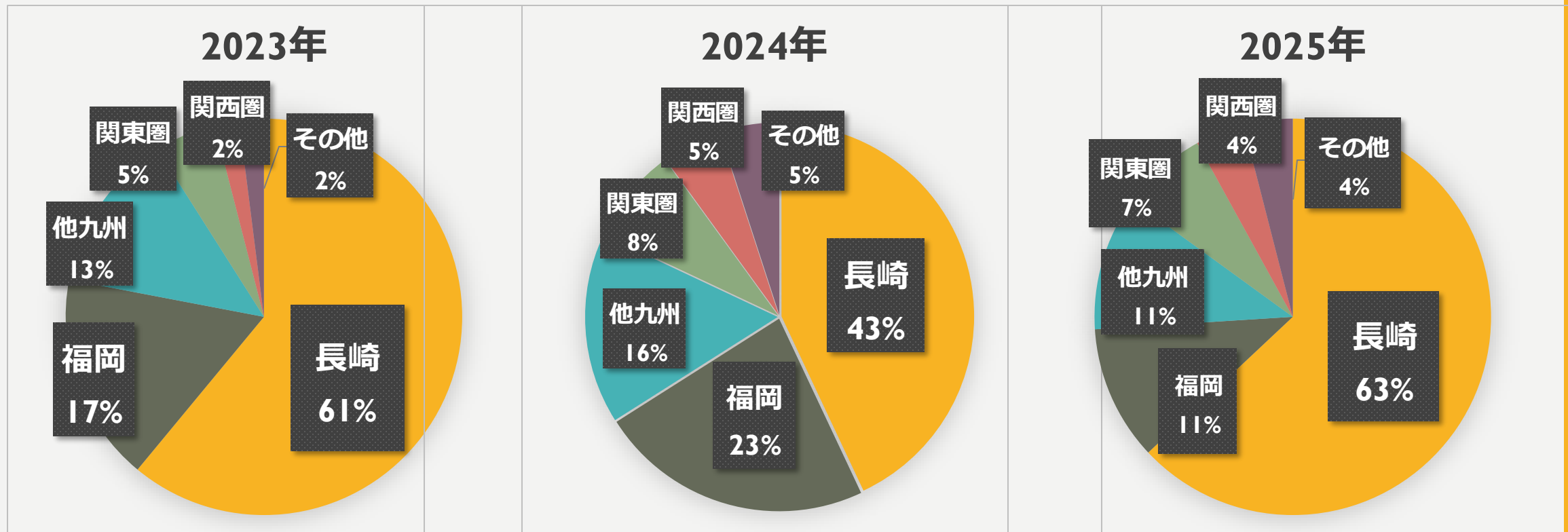


■ 男性 ■ 女性 ■ その他 ■

世代別



Sky Jamboree 来場者 エリア別シェア



* ELLEGARDEN この年九州ではスカジャンだけ

(2) 地域社会との協働

FM長崎社員数15名。

私達だけでは、このフェスを運営することは不可能です。

長崎市役所、警察、消防、行政機関の皆様、
長崎のＪＲ、電車、バス、タクシー、交通機関の皆様、
長崎・福岡の設営、音響照明会社の皆様、
長崎及び九州各地のサポート企業、スポンサーの皆様、
長崎及び九州各地の放送、雑誌、webメディアの皆様、
チケット販売の全プレイガイドの皆様、
福岡のイベンター各社の皆様、
出演いただくアーティスト及びスタッフの皆様
そしてなにより、稲佐山に集まっていたくオーディエンスの皆様、
支えていただくこの皆様すべての方が「Sky Jamboree」を愛していただいている。

「Sky Jamboree」はみんなのフェス。これこそが27年続けてこれている最も大きい要因です。



ポスターを県内約500ヶ所の飲食店に掲示

(3) 「ラジオマン」が創るフェス

[フェスの主催]

- バンドマン主催... I0-FEET「京都大作戦」、SiM「DEAD POP FESTIVAL」
WANIMA「1 Chan Fes」、SHANK「BLAZE UP N」 etc *** バンド間絆強力**
- イベントー主催... フジロック、サマソニ、ライジング、アラバキ、ラッシュボール
モンバス、ワイバン、ナンバーショット etc *** 制作の繋がり強力**
- 媒体／行政主催... ロッキン、ラブシャ、802レディオクレイジー、FM栃木ベリテン、
宮崎UMKジャムナイト etc *** 制作運営はほぼイベントー**

Sky Jamboreeは、FM長崎が企画制作・ブッキング・チケット販売・設営・運営・営業全てを主体的に実施。プロデュースしています。

(3) 「ラジオマン」が創るフェス

Sky Jamboreeらしさ、FM長崎らしさとは。大切にしていること。

ラジオは「あなた」と「私」1対1のメディアです。

たとえば言うと、テレビメディアは、アリーナ会場5万人のお客さんに、ステージ上から「皆さん！」と呼びかけます。

私達は、会場のひとりひとり「あなた」へ話しかけます。その糸が5万本繋がっている。ラジオはそんなメディアです。

ラジオマンが創る「Sky Jamboree」も、そうでありたい。

常に「あなた」と1対1、映像が無い音声メディアのラジオマンが言うのも変ですが、誰が創っているのか、「顔が見えるフェス」そんな関係であり続けたいと思っています。これからも、出演者・スタッフ、そしてオーディエンスの皆さん一人一人と真っすぐ向かい合っていきたいと思っています。

わたしの、超個人的なスカジャンブッキングの方程式。

絶対忘れてはいけない基本精神

1. 魂のある、メッセージのある、愛のあるバンドであること。 **(長崎からの発信)**
2. 私達があなたに伝えたい、知ってほしいバンドであること。 **(ラジオマインド)**
3. リトルロックン、リトルナンバーショットにはならない。 **(スカジャンらしさ)**

このポリシーのもと、経験上考えた独自ルール

1. 全出演バンド中、好きな・気になるバンド・アーティストが最低3組はいる。
2. 集客と予算のバランス的に、アリーナクラスが1~2組、大ホールクラス1~2組、ZEPPクラス（中堅）3組程度、LOGOSクラス（若手）3組程度。Be-7クラス1組。
結果...近年は、ほぼ武道館クラス以上になってしまっています。

+

今年得たもう1つのルール

◎単独公演で、チケットが取れにくい、簡単に観れないアーティストが必要。

2023

one pray in nagasaki

Sky Jamboree 2023

同じ夏は二度来ない。 桃太郎

10-FEET
ストレイテナー
go!go!vanillas
SUPER BEAVER
Vaundy
PEOPLE1
HEY-SMITH
THE BAWDIES
LOVE PSYCHEDELICO
Hakubi

DJ's: RYUJI, DJ OG, DJ V-FIGHTER

8.20 SUN | 長崎市 稲佐山公園野外ステージ

OPEN 10:00 START 11:00

FM Nagasaki

<https://www.skyj.jp>

2024

one pray in nagasaki

Sky Jamboree 2024

supported by 桃太郎

10-FEET
ストレイテナー
ELLEGARDEN
マキシマムザホルモン
SUPER BEAVER
SiM
go!go!vanillas
WurtS
サバシスター

DJ's: DJ RYUJI/DJ OG/DJ EGGE FIGHTER
NAGASAKI ROCK DJ's

8.25 SUN | 長崎市 稲佐山公園野外ステージ

OPEN 10:00 START 11:00

FM Nagasaki

<https://www.skyj.jp>

(4) 地域活性化への具体的影響

Sky Jamboree のお客様は、長崎市内 4 割。長崎県内だと 6 割。

約 10,000 人が、長崎市で飲食をし、シャトルバス・タクシー等市内交通機関を利用、

約 6,000 人が、AIR、新幹線、JR、高速バス、公共交通機関を使い、

約 3,000 人が、宿泊し、観光し、お土産を買って帰る。

直接的な経済効果だけでも数億円の地域貢献をしています。

加えて、私達の役割は「**子供たちの誇りとなり、彼らの可能性を広げる**」こと。

スカジャンに参加した子供たちがミュージシャンとして戻ってきてくれることが夢であり、

音楽芸術の分野だけではなく、自分が目指す・輝ける世界へ、この街を誇りに思って、

「祈りの心」を大切に、強くそして優しく育てていってくださることを願っています。

(4) 地域活性化、祈りの継承、新たな取り組み

《ONE PRAYプロジェクトの立ち上げ／企画主旨》

平和を祈る街・長崎で、大切な夏・8月に開催するロックフェスとして

私達が掲げたテーマが「one pray in nagasaki」

音楽を精一杯楽しめる幸せ。その喜びを感じ、いまここにある平和に感謝し

世界中の人達が穏やかに暮らせることを祈る。そんな願いを込めています。

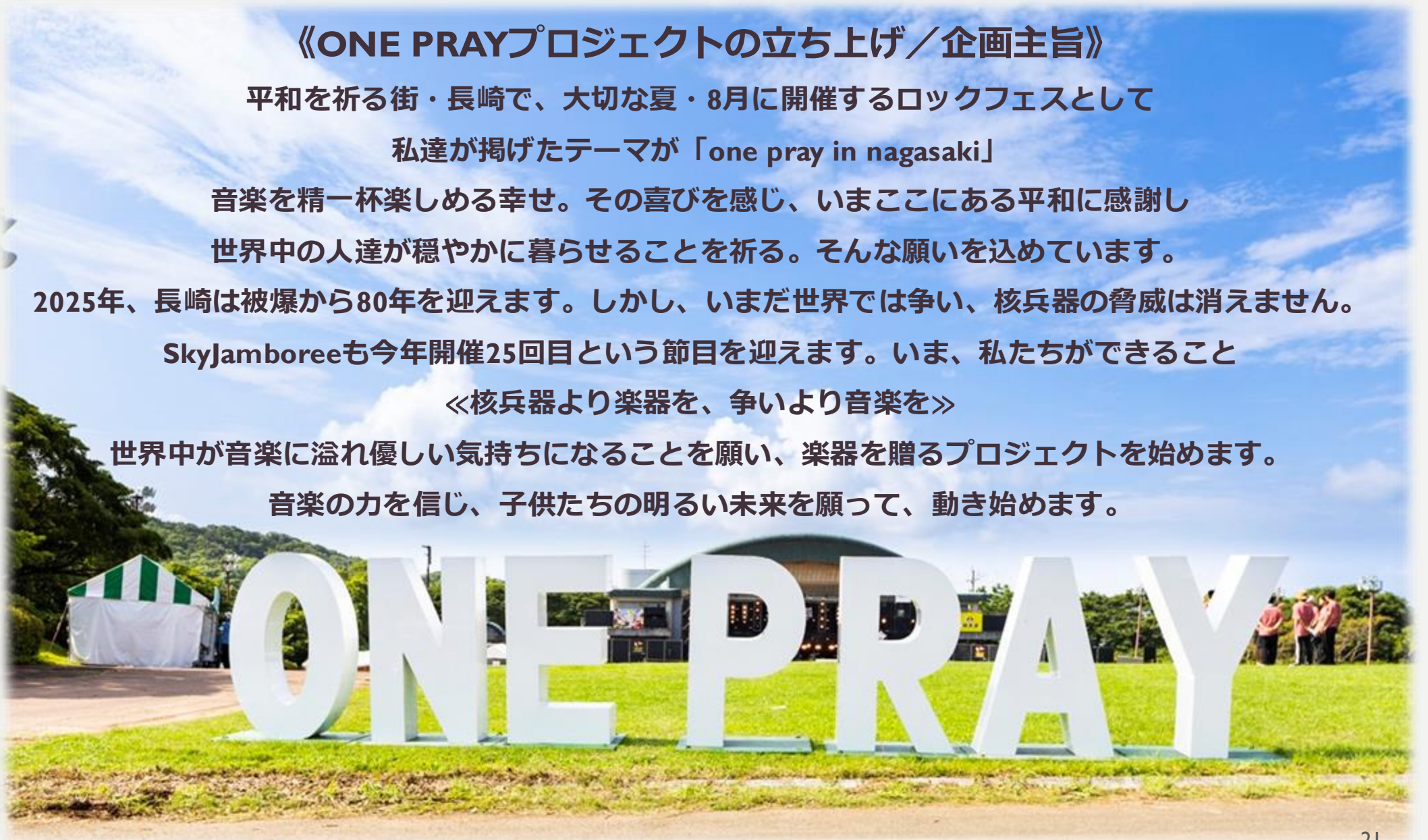
2025年、長崎は被爆から80年を迎えます。しかし、いまだ世界では争い、核兵器の脅威は消えません。

SkyJamboreeも今年開催25回目という節目を迎えます。いま、私たちができること

《核兵器より楽器を、争いより音楽を》

世界中が音楽に溢れ優しい気持ちになることを願い、楽器を贈るプロジェクトを始めます。

音楽の力を信じ、子供たちの明るい未来を願って、動き始めます。



FM長崎 SKYJANBOREE「ONEPRAYプロジェクト」

実施要項



[実施内容] Sky Jamboree売上の一部で楽器を購入し、音楽部、サークル、施設、団体へ贈ります。

対象) 小中高校の音楽系部活、大学短大専門学校の文化部・サークル、社会人団体、
幼稚園・保育園、子供会、学童、老人ホーム、病院、施設等

[応募方法] FM長崎の放送・webサイト、Sky Jamboreeのwebサイトで、楽器が欲しい団体を募集。

応募いただいた中から希望内容を考慮して寄贈する団体・楽器を決定します。

[到達目標] 世界に存在する現役核弾頭の数（2026年6月現在9,615）を上回るまでこの活動が続ける。

これからと課題

地方の特色が薄まってきています。

長崎でレゲエが流行ったように、大阪はブルース、名古屋はヒップホップなどそれぞれの街でそれぞれの文化が育っていました。

しかし、サブスクの登場と共に、地方色が薄れだし、日本が単一化してきています。ある程度動員が必要な大型フェスは、どこも同じキャスティングになってしまう。

温暖化・熱中症問題、物価上昇によるチケット代の高騰、旅費・宿泊費も上がり、フェス選び（これまで多数行ってた人も1つに絞る）、フェス離れが始まっています。

野外フェスの根本的な見直し、「らしさ」の追求が求められています。

最後に。

私達がSky Jamboreeをやり続ける理由。

私達はこの街・長崎を愛しています。

ほんの80年前に、この街を襲った悲劇、受けた痛み、悲しみ。

それを「こんなことは、ここで終わりにしましょう」と乗り越えてきた先人の強さ。

私達の誇りです。今を生きる私達は、この「祈り」を守り伝えていく責任があります。

～ one pray in nagasaki ～

このメッセージのもと、これからも、音楽のチカラを信じて進んでいきます。

Sky Jamboree というフェスがあり続けることが、この街の元気に、

そして子供達の勇気になれるよう、夏・長崎から「one pray」の発信は止めません。



今回の発表で思い起こさせて頂いたこと。

Sky Jamboree をやり続けることで、少しでも平和な世界へのチカラになる。

のではなく、

Sky Jamboree を毎年やれてることが、平和の証。

Sky Jamboree を毎年楽しめることが、平和の証。

毎年、稲佐山に集まって、この想いをみんなで共有すること。

これこそが、私達が Sky Jamboree を続けていく意義です。

今回、この想いを思い起こさせて頂きありがとうございました。

one pray in nagasaki

ご清聴ありがとうございました。

